

# 日 本 史

# 日 本 史

**第1問** かつて日本列島にみられた感染症（疫病）の歴史に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～8）に答えよ。

**A** 人類の歴史は病気・感染症（疫病）との戦いの歴史であったともいえる。日本列島でも古来より多くの疫病が人々を苦しめ、なかには社会の変化を促した例もみられた。㉠狩猟・採取が主として行われた縄文時代を経て水稲農耕が始まり、弥生時代になると、人々は農業用水を得やすい河川の河口付近などの平野部に「ア」を設け、閉鎖された空間で集団生活を営んだ。こうした環境では感染症が広まりやすく、弥生時代の人骨のなかには、結核で命を落としたと思われる痕跡があるものもみられる。

日本列島で流行した疫病の多くは大陸・朝鮮半島からもたらされたもので、それらを媒介したのは人の移動であった。㉡大陸・朝鮮半島との交流がさかんになると、それに応じて多くの疫病がもたらされた。奈良時代には大陸・朝鮮半島との交通の玄関口であった「イ」の大宰府から、天然痘とみられる疫病が流行し始めた。疫病はやがて平城京に到達し、藤原4兄弟をはじめ多くの貴族や庶民が命を落とした。

**問1** 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「1」

- ① アー環濠集落 イー北海道
- ② アー環濠集落 イー西海道
- ③ アー高地性集落 イー北海道
- ④ アー高地性集落 イー西海道

**問2** 下線部㉠に関連して、この時代の社会の様子について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 「2」

- ① 従来の打製石器にかわり、青銅器や鉄器が主に用いられていた。
- ② 気候が温暖化して動物相が変化し、弓矢を用いた狩猟が行われた。
- ③ 岩宿遺跡の発見により、この時代の様子がはじめて明らかになった。
- ④ 呪術的な風習が行われ、繁栄を願って埴輪がさかんにつくられた。

問3 下線部⑥に関連して、弥生時代・古墳時代における倭（日本）の対外交渉について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 倭について、はじめて記載された中国の歴史書は『後漢書』東夷伝である。
- ② 邪馬台国の使者は「漢委奴国王」の金印を持ち帰ったと考えられる。
- ③ 新羅の王が倭の侵略を撃退したと、好太王碑の碑文に記されている。
- ④ 中国に使いを派遣した倭の五王のうち、武は雄略天皇と考えられる。

B 人々を苦しめた疫病の記録は文献上に残されている。平安時代の疫病の多くは、九州地方で流行が拡大する傾向にあった。これは、九州が<sup>㉔</sup>平安時代において大陸との交通の玄関口であったことが影響していると考えられる。

鎌倉時代から室町時代にかけても、疫病が発生した記録が残されている。この当時の疫病は天然痘が多く、他に麻疹などもあったとみられる。これらの疫病に対して、鎌倉時代に律宗の<sup>ウ</sup>が奈良の北山十八間戸で病人救済を行った。このように、幕府の依頼・保護を受けた仏教寺院が救済活動を行うほか、疫病の封じ込めのための加持祈禱が行われた。

江戸時代にも、天然痘や麻疹がしばしば猛威を振るったとされる。貝原益軒の『<sup>エ</sup>』にみられる本草学の発達や、西洋からの医学の流入などもみられたが、一般の人々は医学や薬学の恩恵を十分に享受できたとはいえなかった。とくに大きな被害を出したものに、幕末に流行したコレラがある。インド付近で流行していたコレラが、西洋との交流によって日本に持ち込まれ、多くの人々を苦しめた。このことは、攘夷運動がさかんになり、<sup>㉔</sup>幕末の動乱という大きなうねりを生み出す一因となった。

問4 空欄<sup>ウ</sup>・<sup>エ</sup>に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。<sup>4</sup>

- ① ウー忍性（良観） エー大和本草      ② ウー忍性（良観） エー広益国産考  
③ ウー明恵（高弁） エー大和本草      ④ ウー明恵（高弁） エー広益国産考

問5 下線部<sup>㉔</sup>に関連して、平安時代の対外関係などに関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。<sup>5</sup>

- Ⅰ 菅原道真の建議により、遣唐使の派遣が中止された。  
Ⅱ 朝鮮半島では高麗が滅び、李成桂が朝鮮を建国した。

- ① Ⅰー正 Ⅱー正      ② Ⅰー正 Ⅱー誤  
③ Ⅰー誤 Ⅱー正      ④ Ⅰー誤 Ⅱー誤



問6 下線部④に関連して、幕末の政局や事件に関して述べた文として誤っているものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

- ① 第2次長州征討において、高杉晋作らが組織した奇兵隊が活躍した。
- ② 八月十八日の政変で、薩摩藩などにより長州藩が京都から追われた。
- ③ 坂下門外の変で、公武合体を進めていた阿部正弘が殺害された。
- ④ 王政復古の号令ののち、小御所会議で徳川慶喜の辞官納地が決定した。

C 明治時代に入ると、西洋との交流が本格的に始まり、より多くの感染症が日本にもたらされた。こうしたことへの関心もあり、当時高い水準にあった<sup>e</sup>ドイツの医学が学ばれ、病原菌の発見などで業績を残す研究者も現れた。

第一次世界大戦のころ世界的にインフルエンザが流行し、「スペイン風邪」と呼ばれた。これは日本でも流行して多くの被害を出した。この当時まだワクチンや特效薬はなく、民間ではマスク着用や発病者の隔離など社会的な防衛策がとられ、流行は数年で沈静化した。一方、<sup>f</sup>工場などの劣悪な環境で働く女工たちの間で肺結核が流行し、人々を悩ませた。その後の医学の発展に伴い、多くの感染症について治療法が発見された。しかし人類が克服、撲滅した感染症は天然痘のほかにはなく、未知のものも含めて、人類と感染症との戦いは現代にいたってもいまだに続いている。

問7 下線部<sup>e</sup>に関連して、明治時代の学問について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 志賀潔は黄熱病について研究し、のちにアフリカで病死した。
- ② 北里柴三郎は破傷風を研究し、伝染病研究所の所長となった。
- ③ 高峰讓吉は広く農村を見聞し、日本民俗学の確立に寄与した。
- ④ 長岡半太郎は『善の研究』を著し、独創的な哲学を展開した。

問8 下線部<sup>f</sup>に関連して、近代の労働者と労働法規や労働運動などについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 女工と呼ばれた女性労働者は、主に製鉄業など重工業に従事した。
- ② 日清戦争終結の直後に、日本で第1回メーデーが開催された。
- ③ 工場法は、女性や年少者の工場労働などを一切禁止した。
- ④ 第2次山県有朋内閣は治安警察法を制定し、労働運動を抑制した。

**第2問** 古代の宮都に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

（史料は一部省略したり、書き改めたりしたところがある。）

A 大王が居住する宮は、<sup>a</sup>6世紀末から「ヤマト」と呼ばれた奈良盆地に定着し始めた。この宮は原則として一代限りで、大王が交代すると新たな宮が建造された。[ア]や厩戸王（聖徳太子）が政治を補佐した推古天皇の時代の宮は小墾田宮というが、厩戸王は斑鳩宮に居住しており、この当時の大王（天皇）の居住地と、王族・豪族の居住地は必ずしも同じ場所ではなかった。

斉明天皇の時代、百済救援のために天皇と王族の大部分が九州に赴いたので、九州に一時的に宮が営まれた。しかし白村江での大敗後には、国防のために宮は[イ]国に移された。その後、<sup>b</sup>壬申の乱に勝利して即位した天武天皇は律令国家の形成を推進し、天武天皇の死後、皇后の持統天皇によって藤原京に遷都された。藤原京は宮の周囲に京を設け、かつて自らの支配地に居住していた王族や豪族を居住させた。このことは、律令国家の形成とも相まって、王族や豪族の官僚化を促進した。

問1 空欄[ア]・[イ]に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [9]

- ① アー蘇我蝦夷 イー摂津      ② アー蘇我蝦夷 イー近江  
③ アー蘇我馬子 イー摂津      ④ アー蘇我馬子 イー近江

問2 下線部<sup>a</sup>に関連して、6世紀の日本（倭）の文化や国内の様子などについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [10]

- ① 大伴金村が、朝鮮半島への政策をめぐり失脚した。  
② 新羅の聖明王から、公式に仏教が伝えられた。  
③ 小型の古墳が集まった、群集墳がつけられた。  
④ 筑紫の磐井が、ヤマト政権に対して反乱を起こした。

問3 下線部<sup>b</sup>に関連して、天武天皇やその時代の政策などについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [11]

- ① 冠位十二階を定め、人材登用の道を開いた。  
② 日本最初の全国的戸籍である、庚午年籍を作成した。  
③ 飛鳥浄御原宮に都を移し、その地で天皇に即位した。  
④ 皇后の病氣平癒を願って、新たに西大寺を建立した。

**B** 701年に大宝律令が完成し、唐の長安にならった平城京が造営された。平城京では平城宮が北部中央に位置し、中央の朱雀大路で東西に分割された。京の造営には藤原不比等が関わっており、藤原氏の氏寺である興福寺も京内に組み込まれた。京内にはほかにも大寺院がいくつか建造され、さらに㉓遣唐使のもたらした盛唐文化の影響もあって、律令国家の威容を誇る壮麗な京であったと考えられる。

しかしその外面とは裏腹に、平城京においてさまざまな政争が繰り広げられた。また、人口の集中による疫病も蔓延した。そこで聖武天皇は一時宮を外部に移し、仏教による国家の安定を願って国分寺建立や大仏造立を命じた。こうしたことから、当時の政界では仏教勢力が大きな影響力を持つようになっていった。

続く孝謙・淳仁天皇の時代には、㉔藤原仲麻呂が権力を握ったが、孝謙太上天皇の寵愛を受けた道鏡が台頭し、対立が起こった。皇位継承も不安定であったことから、政界は一時混乱した。

**問4** 下線部㉓に関連して、遣唐使や、遣唐使船とともに唐に渡った人物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 唐への航海ははじめ南路が用いられ、のちに北路が用いられた。
- ② 第1回の遣唐使として犬上御田鎌が大宝律令完成後に派遣された。
- ③ 阿倍仲麻呂は唐で学び、帰国してからは中央政界で活躍した。
- ④ 玄昉や吉備真備は唐で学び、帰国後橘諸兄政権で重用された。

**問5** 下線部㉔に関連して、藤原仲麻呂と道鏡に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

- Ⅰ 藤原仲麻呂は道鏡の排除を求めて反乱を起こしたが、橘奈良麻呂により鎮圧された。
- Ⅱ 天皇が道鏡に皇位を譲ろうとしたことをめぐって、宇佐八幡神託事件が起こった。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

C 桓武天皇は父の光仁天皇の政策を引き継ぎ、政治の刷新に乗り出した。桓武天皇は新たな都の造営を考え、はじめ長岡京に都を移した。しかし造営の責任者であった藤原種継が暗殺され、さらに長岡京は水陸交通に便利な地であった半面、水害も多かったため、再び都を移し平安京を定めた。

㉔ 桓武天皇の行ったさまざまな政治の刷新は子にも受け継がれた。平城天皇は弟の嵯峨天皇に皇位を譲ったのちも奈良の地で権力を持ち、一時朝廷は「二所朝廷」というべき状態にあった。しかし藤原氏式家の藤原仲成・葉子が排除されると、平城太上天皇も政治から引退した。嵯峨天皇の死後には皇位継承も安定し、次第に天皇家との婚姻関係を背景に藤原氏北家が実権を握っていった。このような情勢を背景に㉕ 都は平安京に安定し、華やかな王朝文化が花開いた。

問6 下線部㉔に関連して、次の史料に関して述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14

えんりやく 延暦じんにん二十四 (805) 年十二月壬寅 是の日、ちゅうな ごんこのえたいしゅう 中納言近衛大将ふじわらのあそんうちまろ 従三位藤原朝臣内麻呂、  
ちよく 殿上に侍す。さんぎ う えじのかみ 勅有りて参議右衛士督おつぐ 従四位下藤原朝臣すがのの 緒嗣と参議左大弁正四位下菅野  
まみち 朝臣真道とをして、とくせい そうろん 天下の徳政を相論せしむ。時に緒嗣、議していわ 云く、「い ま 方今、天下の  
こ 苦しむ所は軍事と造作となり。此の両事をとど 停めばひやくせい 百姓安んぜむ」と。真道、異議をかく 確  
しつ 執してあ き 肯えてみかど 聴かず。帝、緒嗣の議をよ 善しとし、すなわ 即ちちようはい 停廢に従ふ。  
にほんこうき  
『日本後紀』

- ① 藤原緒嗣は、軍事と造作をやめるよう提案した。
- ② 藤原内麻呂は、藤原緒嗣の提案内容を否定した。
- ③ 天皇は意見を聞き、菅野真道の意見を採用した。
- ④ この話し合いの直前に、応天門の変が起こった。

問7 下線部㉕に関連して、国風文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 貴族の邸宅には、日本で発達した書院造が用いられた。
- ② 唐風の書が流行し、橘逸勢らの名手は三筆と称された。
- ③ 藤原道綱の母は、宮中の様子を『更級日記』に著した。
- ④ 藤原公任が朗詠に適した和歌・漢詩文の『和漢朗詠集』を編んだ。

**第3問** 中世から近世にかけての朝廷に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 治承・寿永の乱を経て、源頼朝は鎌倉に幕府を開いたが、ただちに幕府が全国を支配する政権となったわけではなかった。荘園の支配や官位の授与など、全国支配の実権は朝廷が握り、また西日本における幕府の影響力は限定的で、「公武二元支配」の状態であったと考えられている。

㉠幕府の支配力が全国におよび、朝廷を上回るようになった契機は承久の乱であった。幕府はこの乱を経て、朝廷の人事や皇位継承にまで影響力を持つようになった。そして、地方の支配において武家法を定めたが、朝廷の権限を否定してはいなかった。しかし公武の力関係において幕府が朝廷を上回ったことを背景に、㉡地頭が荘園を侵略することもしばしばみられるようになった。

問1 下線部㉠に関連して、承久の乱について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 後鳥羽上皇は、北条泰時追討を全国の武士に呼びかけた。
- ② 乱ののちも、後鳥羽上皇は院政を行うことをゆるされた。
- ③ 乱ののち、朝廷の監視を行う六波羅探題が設置された。
- ④ 乱ののち、あらたに設置された地頭を本補地頭という。

問2 下線部㉡に関連して、鎌倉時代の地頭や、地頭の土地支配について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 地頭と荘園領主の紛争解決の方法の一つには、土地を折半する下地中分があった。
- ② 地頭のなかには、藤原元命のように非法をうったえられるものもいた。
- ③ 地頭の主な職務は御成敗式目により、大犯三カ条と定められた。
- ④ 地頭の所領は御成敗式目により、嫡子のみ相続できるとされた。

**B** 後継者を指名しなかった後嵯峨法皇ののち、皇位の継承や院政を行う権利は二つの皇統が争い、皇位は交互に就くようになった。これを両統迭立という。このようななかで、の後醍醐天皇は朝廷の権力回復を目指して討幕を呼びかけた。これに畿内近郊の悪党をはじめ足利高氏や新田義貞などの御家人も呼応して、鎌倉幕府は滅亡した。

後醍醐天皇は、先例にとらわれず権限を自らに集中させた政治体制を目指したが、慣習を無視した政治に次第に武士たちの不満が募り、建武の新政は短期間で崩壊した。

その後も後醍醐天皇は、吉野に逃れて自らの正統性を主張した。一方で足利尊氏はから征夷大將軍に任じられ、争いは南北朝の動乱に発展した。

南北朝の動乱を収束させた足利義満は、朝廷の権限を吸収して公武にわたる強大な権力を築いた。朝廷のさまざまな儀礼は、幕府の財政でまかなわれた。朝廷は幕府の統治や政治の正当性の根拠として、その後も機能し続けた。

**問3** 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー持明院統 イー光明天皇
- ② アー持明院統 イー光厳天皇
- ③ アー大覚寺統 イー光明天皇
- ④ アー大覚寺統 イー光厳天皇

**問4** 下線部に関連して、室町幕府の租税・財政について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幕府は田地に対して段銭、さらに家屋に対して棟別銭を課した。
- ② 銭の交換比率を定めた撰銭令の施行に際し、分一銭を徴収した。
- ③ 奉公衆と呼ばれた將軍直属の武士が管理する御料所から収入を得た。
- ④ 京都の富裕な金融業者である酒屋や土倉に対して営業税を課した。



C 応仁の乱や<sup>④</sup>各地で相次いだ一揆により将軍や幕府の権威が弱体化し、さらに荘園の支配が機能しなくなると、これまで幕府の保護に依存していた朝廷は、さまざまな儀礼の経費を調達することが困難となった。戦国時代にはたびたび天皇の代替わりがあったが、その際行われるはずの大嘗会も経費がまかなえないため実施できないことがあった。各地に割拠した戦国大名は、領国の経営や敵対勢力との和平などで朝廷の権威を利用することがあった。のちの<sup>⑤</sup>織田信長も、一向一揆との和平に天皇の権威を借りた。

なかでも天皇権威を積極的に用いたのが<sup>⑥</sup>豊臣(羽柴)秀吉である。秀吉は関白・太政大臣の高位にのぼり、支配下的大名には天皇に対して臣従の礼をとらせた。このように、秀吉は天皇の補佐を行う名目で自らの統治の正当性を認めさせていき、全国の大名に対して停戦を命じるなどの政策をとった。

問5 下線部<sup>④</sup>に関連して、室町時代に発生した一揆について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

Ⅰ 将軍殺害を機に徳政令を求める土一揆が起こり、はじめて幕府が徳政令を発した。

Ⅱ 一向宗の門徒を中心とした一揆が、加賀国の守護であった富樫政親を滅ぼした。

Ⅲ 畿内近郊の惣村を基盤とする農民勢力などが徳政を求めて蜂起する、正長の徳政一揆が起こった。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問6 下線部<sup>⑤</sup>に関連して、織田信長について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① 反抗の姿勢をとった比叡山延暦寺を焼打ちにした。

② 桶狭間の戦いでは、浅井・朝倉氏の連合軍に勝利した。

③ 将軍足利義昭を追放し、自らが征夷大將軍となった。

④ 本能寺の変で、武田勝頼の謀叛によって滅ぼされた。



問7 下線部④に関連して、豊臣秀吉の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 新たな貨幣である慶長小判を発行して全国に流通させた。
- ② 文永の役と弘安の役で、二度にわたって朝鮮に派兵した。
- ③ 賤ヶ岳の戦いで徳川家康らと戦い、敗北ののち和睦した。
- ④ 全国で不統一だった枳の容量を、京枳に統一した。

**第4問** 近世の流通・経済について述べたA・Bの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 関ヶ原の戦いの後、徳川家康は **ア** から征夷大將軍の宣下を受け、<sup>a</sup> 江戸に幕府を開いた。2年後には將軍職を子の徳川秀忠に譲り、將軍職を徳川氏が世襲することを世に示した。

豊臣氏の滅亡以後、將軍が江戸から動くことは少なくなり、大名たちも定期的に江戸に参勤することが慣例となった。3代將軍徳川家光は、この参勤を武家諸法度によって制度化し、大名たちが1年おきに領国と江戸を往来することを義務付けた。それに伴い、幕府は<sup>b</sup> 街道の整備にも力を入れ始めた。これらの街道は幕府の統治のための公道として整備され、幕府の使者や参勤交代の大名たちのための施設も拡充した。また、各地の城下町をつなぐ交通網も整備され、流通が発達した。江戸時代後期は、<sup>c</sup> 物見遊山の旅人の往来もさかんになった。とくに **イ** への集団参詣である御蔭参りが定期的におこり、街道や宿場町は多くの人であふれた。

**問1** 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① **ア**—後陽成天皇 **イ**—伊勢神宮
- ② **ア**—後陽成天皇 **イ**—日光東照宮
- ③ **ア**—明正天皇 **イ**—伊勢神宮
- ④ **ア**—明正天皇 **イ**—日光東照宮

**問2** 下線部<sup>a</sup>に関連して、江戸幕府に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

- ① 大名への処分でもっとも重い改易は、親藩や譜代大名には行われなかった。
- ② 若年寄の下に大目付や目付が設置され、大名や旗本らの監視を行った。
- ③ 勘定奉行や町奉行は三奉行といい、譜代大名から選任された。
- ④ 幕府の政務を統轄する老中には複数の譜代大名が選任され、月番交代とされた。

**問3** 下線部<sup>b</sup>に関連して、江戸時代の街道に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- ① 宿場町の住民や付近の村々は、人馬を提供する伝馬役を負担した。
- ② 街道には関所が設けられ、通行の際に関銭を徴収した。
- ③ 江戸の日本橋を起点とする街道は、脇街道と呼ばれた。
- ④ 宿場町には大名の宿泊する旅籠や、庶民用の本陣があった。

問4 下線部㉔に関連して、物見遊山がさかんになった江戸時代後期の庶民の文化に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

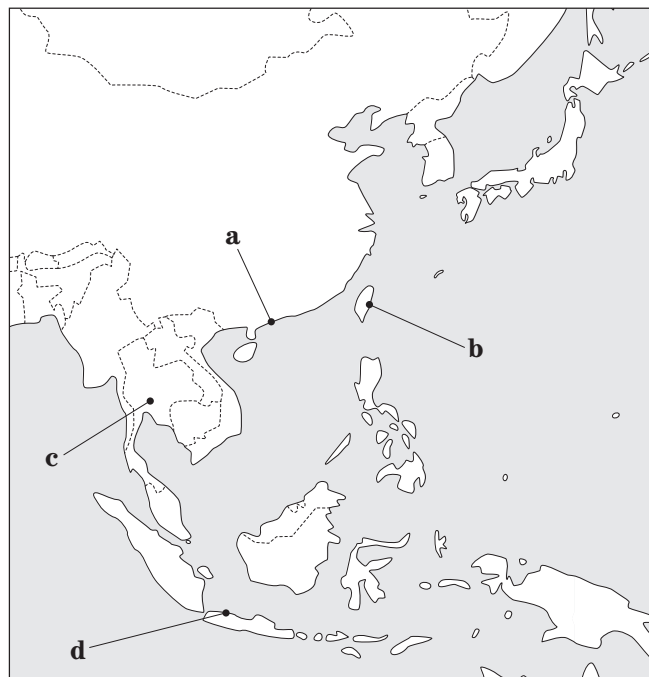
- ① 浮世絵が人気となり、『東海道五十三次』を描いた葛飾北斎らが活躍した。
- ② 歌舞伎が人気となり、初代市川左団次や5代目尾上菊五郎らの名優が活躍した。
- ③ 読本が人気となり、曲亭馬琴の『南総里見八犬伝』などが好評を博した。
- ④ 浮世草子が人気となり、近松門左衛門の『曾根崎心中』が好評を博した。

**B** 江戸時代の物資の輸送は陸上交通でも行われたが、陸上で大量の物資を輸送するための手段は発達しなかった。そのため、大量の物資輸送にはもっぱら水上交通が用いられた。17世紀初め、<sup>④</sup>朱印船貿易で財を築いた京都の豪商角倉了以は、富士川を整備したり高瀬川を開削したりして、水上交通が充実した。また、17世紀後半、幕府の命を受けた江戸の商人である河村瑞賢は、奥州の年貢米を輸送するため東廻り海運をひらき、続いて出羽から日本海を経て瀬戸内海へとつながる西廻り海運をひらいた。

水上交通が整備されて大量の物資輸送が可能になると、東北地方や西国の物資は大坂に集積され、大坂近郊で加工されたのちに全国各地に出荷された。こうして大坂は「天下の台所」として繁栄した。とくに<sup>⑤</sup>最大の消費地である江戸への物資輸送は、都市の間屋商人らによってさかんに行われた。江戸時代中期以後になると、蝦夷地と日本海・瀬戸内各地を結ぶ北前船が登場し、さらに内海船などもあらわれ、流通は次第に多様化していった。こうした全国市場の形成を背景にして、各地で特産物がうまれた。しかし、特産物などの栽培は投機性が高く、やがて<sup>⑥</sup>農村部にまで貨幣経済が浸透したことによって、農村内の階層分化が起こった。

**問5** 下線部<sup>④</sup>に関連して、朱印船貿易が行われていたころの日本とアジアに関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、下の地図中の場所a～dの組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 27

- Ⅰ キリシタン大名であった高山右近が、この地に追放された。  
Ⅱ のちにリゴールの太守となる、山田長政を長とする日本町があった。



- ① Ⅰ - a    ② Ⅰ - b    ③ Ⅱ - c    ④ Ⅱ - d

問6 下線部⑤に関連して、江戸時代の商業・流通・金融に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 江戸を中心とした経済圏では、主に計数貨幣である銀貨が用いられた。
- ② 上方（大坂）と江戸の間の輸送には樽廻船が用いられ、のちに菱垣廻船が多くなった。
- ③ 茶屋四郎次郎や紀伊国屋文左衛門など、両替商が成長し豪商となった。
- ④ 江戸の十組問屋や大坂の二十四組問屋など、問屋仲間が結成された。

問7 下線部⑥に関連して、江戸時代の農村の階層分化に関して、農村内の村役人らの不正を追究する小百姓らの運動として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 国訴            ② 村方騒動            ③ 惣百姓一揆            ④ 世直し一揆

**第5問** 近現代の日本の外交・戦争に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

**A** 自由民権運動の高まりを受けて政府は国会開設の勅諭を出し、伊藤博文を中心として大日本帝国憲法を定めた。こうして開かれた議会では、日本の利権を守るため朝鮮半島の重要性を説き、軍事予算の増額をうったえた。

① 初期議会においては予算をめぐって常に政府と民党が対立したが、日清戦争が始まると、政府と政党が協調して戦争を遂行した。日清戦争後、中国東北部や朝鮮半島にロシアの影響力が強まると、日本はイギリスと同盟を結び、ロシアとの交渉も行った。しかし、ロシアとの妥協は実現せず、政府は戦争に踏み切った。この戦争の間にロシア国内では革命運動が起こり、一方で日本は国力の限界に達したため、② アメリカの仲介で講和条約が締結された。

**問1** 下線部①に関連して、初期議会や憲法制定前後の内閣に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 第一議会が開催された時の首相は、黒田清隆であった。
- ② 第一議会において、共和演説事件で文部大臣が辞任した。
- ③ 初の解散後の総選挙で、内務大臣品川弥二郎が選挙干渉を行った。
- ④ 初期議会において民党は「閥族打破・憲政擁護」をうったえた。

**問2** 下線部②に関連して、講和条約や日本国内の様子に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領が仲介した。
- ② この条約で、ロシアは日本に対して樺太全島を割譲した。
- ③ 講和内容に不満を持った民衆の暴動が米騒動へと発展した。
- ④ 日本全権は小村寿太郎、ロシア全権はウイッテであった。

**B** ヨーロッパではドイツの台頭に加え、日露戦争後にロシアがバルカン半島への進出を図った。ロシアはドイツと対立していたイギリスと和解し、そこにフランスも含めた三国協商が成立した。一方ドイツは、オーストリアとの同盟を重視した。バルカン半島をめぐる国家間の対立は、第一次世界大戦へと発展した。

日本は日英同盟を口実に協商国側の一員として参戦し、ドイツが租借していた中国の青島を占領し、さらにドイツ領の南洋諸島の一部を占領した。そして辛亥革命後成立した<sup>㉓</sup>中華民国の袁世凱政府に対して、二十一カ条の要求を行った。こうした日本の行動に、中国国内では非難の声が高まった。戦後のヴェルサイユ条約で、日本は山東半島の旧ドイツ権益の継承を認められたが、その後のワシントン会議で中国へ返還することとなった。

第一次世界大戦後、ロシアでは世界初の社会主義国家であるソヴィエト連邦が成立した。国際社会では民族自決の風潮が強まり、中国でも日貨排斥運動が起こった。1930年代に入ると、<sup>㉔</sup>日本国内では中国国内の権益の保全を求める声が高まり、関東軍の一部が軍事行動を起こした事件を発端として、満州国が建国された。

**問3** 下線部<sup>㉓</sup>に関連して、この要求に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

- Ⅰ この要求を行った時の外務大臣は、第2次大隈重信内閣の加藤高明であった。  
Ⅱ この要求を袁世凱政府は受け入れ、日本人顧問を中国政府に置くことが定められた。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤  
③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

**問4** 下線部<sup>㉔</sup>に関連して、このころの日本国内の様子に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① この事件は、北京郊外の柳条湖での戦闘が発端であった。  
② この事件について、国際連盟の調査団は日本を全面的に支持した。  
③ 血盟団事件で、前大蔵大臣の井上準之助らが殺害された。  
④ 満州国の承認をめぐり、二・二六事件で首相が殺害された。

C ㉔ 満州事変を契機に国際社会からの孤立の道を選択した日本はドイツと提携し、中国やアジアへの進出を進めた。これに対してアメリカは、輸出品目の制限などの経済制裁を行った。外相の  はソヴィエト連邦（ソ連）と日ソ中立条約を結び、日独伊にソ連を加えた四か国同盟を結ぶことで、アメリカに対抗することを考えた。しかし結局日米交渉は失敗に終わり、日本はアメリカとの戦争を決断した。

戦争は、はじめ日本側が優勢であったが、での敗北以降は守勢にまわり、戦況は徐々に悪化した。連合国によるポツダム宣言発表ののち、ソ連は日ソ中立条約を一方的に破棄して日本に宣戦布告して参戦した。日本はソ連を通じた連合国との和平交渉に期待していたが、その道が閉ざされたこともあって、宣言を受諾して降伏した。

第二次世界大戦後、日本はアメリカを中心とする連合国軍に間接統治された。統治の方針はアメリカの国際戦略、特に㉕ 米ソ冷戦の影響に左右された。日本は西側諸国の一員として独立を回復し、後にソ連との国交回復をもって国際連合に加盟し、国際社会への復帰を果たした。

問5 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー広田弘毅 イーミッドウェー海戦
- ② アー広田弘毅 イーマレー半島上陸
- ③ アー松岡洋右 イーミッドウェー海戦
- ④ アー松岡洋右 イーマレー半島上陸

問6 下線部㉔に関連して、この前後の日本の対外関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 日本の南部仏印進駐に対して、アメリカは日本への石油輸出を禁止した。
- Ⅱ 日独伊三国同盟調印に対して、アメリカは日本への航空機用ガソリンや屑鉄の輸出を禁止した。
- Ⅲ 満蒙の国境をめぐる、国境地帯で日ソ両軍が衝突するノモンハン事件が起こった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ



問7 下線部④に関連して、米ソ冷戦に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① アメリカは、西側諸国の経済復興のためにマーシャル＝プランを発表した。
- ② 東側諸国は、ソ連を中心としたワルシャワ条約機構を結成した。
- ③ 冷戦は、ブッシュとゴルバチョフのマルタ島会談で終結が宣言された。
- ④ 冷戦が終結した後、米ソ両国は部分的核実験禁止条約に調印した。

(日本史の問題は終わり)